

宮城自治会紹介

1. 宮城の概要

○ 位置

宮城(ナーグシク)は、南風原町の北に位置し、西原町・与那原町と隣接しています。北側には、広大な土地改良区が広がり、町内唯一の南風原ダムからの灌漑水による農業が盛んな地域でしたが、近年高齢化が進み特にサトウキビ農家が減少傾向にある。

我が宮城は、那覇空港自動車道南風原北インター入口に接し利便性が高い都心化の流れもあり住むには最高の場所と考える。又、宮城は羽衣伝説が残る地で、天女が羽衣を脱いで水浴をしたとされる御宿井(ウスクガー)があり、拝所として今なお拝み継がれており、古い伝統を残した地域でもあります。

○ 宮城構造改善センター(公民館) 南風原町字宮城218番地



一部沼地(クムイ)を埋め立てた地域706㎡(214坪)の敷地に300㎡(91坪)の建物を、昭和61年3月に建立する。平屋建て、ホール(117㎡)・舞台(4.1㎡)・会議室「和室」(29㎡)・調理室(34㎡)・事務室(23㎡)他

○PTA宮城支部(北丘小学校・南風原中学校・各PTA)

○老人クラブ(対象年齢60歳以上)

○女性会(字内活動)

○体協支部(町体協各種競技への参加他)

○はごろも会(地域支部ネットワーク、75歳以上)

○宮城若者衆(宮城大綱曳き実施組織)

3. 主な年間行事

(1) 新春マラソン大会・もちつき大会(1月1日)



毎年恒例で幼児・小学校・中学校・一般までが参加する。幼児から一般まで上位者に賞品を与えるマラソン競技後は、幼児から一般まで、もちつき大会を行う。



サトウキビの出荷を終え、又その他の中ユクイ
行、サトウキビの
生産量で上位者の表彰も行う。カラオケで盛
り上げる。



全区民が対象で区内字有地・道路沿いの清掃、
花の苗の植え付けを行う、女性の皆さんの作った
天ぷらが好評です。



宮城が最も熱くなる大綱曳き。旧 6 月 15 日のウマチー綱
曳きで手慣らしをし、旧 6 月
26 日の大綱曳きが最高潮と
なる。頭(かしら)と小頭それ
ぞれ12人で組織の運営に当
たる。1ヶ月前頃から、仕事が
終わった後の夜や休日等
を利用し旗頭の製作に取りか
かり。大綱曳きを終わると新
しい頭・小頭に引き継がれる。

(6) 宮城まつり(7月)



区民が生産した農産物の即売・PTA・
女性会・JA女性部による販売、黒糖づくりの実
演試食会などが好評。

(7) 敬老会(9月)

70歳以上を公民館ホールに招待し舞台を楽し
んでいましたが、カラオケを導入してからは、積
極的に舞台で唄を楽しんでいる。



全・宮城ワイド祝舞踊立踊(忘し)

全区民を対象に宮城公園で実施する。団体戦と個人戦を争う。賞品も、とび賞などを多くし、賞品がいきわたる様にしている。家族チームでの参加も増えている。



昔御冠船踊りとして伝えられているそれを受け継いだ仲里広吉さんが久しく踊れずに忘れかけていたのを復活した踊りである。戦後3回しか踊られていなかった踊りを今度仲里光子さんの指導で恋する女の歓びを表現したもので華麗な花笠と紅型衣装を着けて踊る古典女踊りを見事に復活した踊りである。

5. 公民館活動(サークル等)

(1) 地域福祉ネットワーク、宮城はごろも会



毎月3回(第1・3・4火曜日)に午前10時から正午頃まで活動している。公民館ホールでゲームや手作り工作をしたり、ピクニックや花見にも出かける。会員提供のジャガイモ・玉ネギ等を使い第3火曜日には、公民館の調理室でボランティアの皆さん(区民有志)が作る日替わりランチを皆でユンタクをしながら食を楽しむ。

(2) 見守りパトロール



老人クラブ会員が、毎週木曜日午後4時から子供達の下校コールをパトロールする。黄色いベストと帽子を着用し、子供達とすれちがうとあいさつ等声掛けする。

毎週火・木曜日午後7時から9時まで区内の愛好家がホールで汗を流している。卓球台・その



他用具購入の為、メンバーでサトウキビ刈り取りの請負いも行った。今では、町主催(体協)の選手として頑張っている。



2ヶ月に1回第3土曜日午後4時から区内全域を回り、危険ヶ所等の点検を行っている。



(5)カラオケ愛好会

毎週月曜日午後6時から9時男性のみ毎週土曜日午後1時から4時まで女性のみ唄好きの皆さんが楽しんでいる。

(6) 大正琴サークル



毎週金曜日午後3時から5時まで和室で行う。10人程度の会員(女性)が練習に取り込む。休憩時間のユンタクも楽しみの1つ。毎年字行事の祭り等にも積極的に参加している。



毎週水曜日午後3時から6時まで囲碁を楽しんでいる。